

令和8年5月9日

専門学校日本デザイナー学院九州校
校長 伊藤 敬生 殿

学校関係者評価委員会
委員長 野村 佳弘

学校関係者評価委員会報告

令和8年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

① 業界関係者代表

井上 憲一郎（井上総合印刷株式会社 代表取締役）

② 業界関係者代表

佐野 直樹（株式会社ダブルベース 取締役）※第1回委員会は都合により欠席

③ 業界関係者・卒業生代表

日高 信生（株式会社ディーゼロ 執行役員）

④ 業界関係者・卒業生代表

宮崎 智文（トゥモローデザイン 代表取締役）

⑤ 高等学校代表

田中 智（学校法人恭敬学園 学園長）※第1回委員会は都合により欠席

⑥ 地域代表

井浦 賢治（東住吉公民館 主事）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和8年5月9日（会場 専門学校日本デザイナー学院九州校 会議室）

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標について

■教育内容の整備

業界のニーズに合わせた実践的な教育と企業や行政との産学連携を徹底し、各コンテスト等での受賞を目標とする。

(現状)

進化の早いクリエイティブ業界において各科目にて業界の最先端のニーズを踏まえた授業内容にブラッシュアップしている。その成果もあり多くの学科で様々なコンテストで実績を残している。

(課題および解決方法)

AIの進化と早いスピードで変化しているクリエイティブ業界に合わせ、将来も見据えた教育内容の整備を行いつつコンテストで実績を残していくことは課題となる。現役クリエイターの講師陣、および外部企業の協力を仰ぎながら教育内容を整備していく。

■学習環境の整備

古くなった機材の入れ替えを行い、最先端の学習環境への整備を行う。

(現状)

令和7年度においても古くなった機材の入れ替えを行った。PC関連だけではなくプロジェクターやレーザーカッター、映像関係機材など多くの機材の入れ替えを行う。また一部の机や椅子、キャビネットなどの入れ替えや大規模な修繕工事を行い学生達にとって安全で充実した環境となるよう整備を行った。

(課題および解決方法)

機器の進化も早く常に最新の機材をそろえることは課題となる。最新機材の動向を確認しつつ毎年少しずつ入れ替えを行っていく。

【情報公開の整備】

学園の基本情報等を公開し、外部の方への透明性と理解度を高める。

(現状)

オフィシャルサイトでの情報公開を行っており、情報の透明性の徹底と理解度を高めるよう注力している。

(課題および解決方法)

教職員および外部の方への情報公開を行っている事の周知が課題となる。引き続き透明性を持った情報公開を徹底し、SNS等も活用しながら広く中値を行っていく。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・目標

【学校関係者評価委員 意見・質問】

- ・自己評価報告書には現状や課題、課題の解決策など、丁寧に正確に答えが書かれている。しかし何が学生の未来につながるかはこの設問だと見えない。
 - ・教育理念や目的・目標などはどこまで情報を理解してもらう必要があるのか？
 - ・本当に知ってもらいたい人たちに知ってもらうだけでは問題があるのか？
- ⇒学校という機関は学校の情報を広く理解していただく必要がある。教職員・学生・社会に対して十分に周知する必要がある。
- ・もっと多くの方が理解できるように内容をわかりやすくしたほうが良い。
 - ・ホームページに保護者向けのページがないので制作したほうが良い。

2 教育課程、教育の実施、学修成果

【学校関係者評価委員 意見・質問】

- ・授業評価のルーブリックを重視した取り組みはとても良い。これまでは作品だけの評価だったのか？
- ⇒基本的な授業評価についてはこれまでも基準は設けられていたが、今年度の取組のように細かく明文化されていたわけではなかった。先生の裁量になってしまうところを改善し、より学生が理解・納得しやすい形に改善していく。
- ・ルーブリック形式を採用し、各工程において学生へフィードバックすることはとても良い。
 - ・講師陣の事前準備の負荷が増しそうである。
 - ・課題を提出することだけが学生の目的にならないようにしたい。学生にはそれぞれ得意が必ずあるので学生の「得意」を見つけてあげたい。
 - ・ルーブリック形式での評価結果はポートフォリオに掲載するよう指導したほうが良い。
 - ・進級・卒業に必要な単位数は学生に周知出来ているのか？
- ⇒進級・卒業については特に細かく説明をしているので大半の学生が理解していると捉えている。
- ・マンガ科の学生はデビューが目標だが在学中にデビューが決まった学生はどうするのか？
- ⇒授業の中で制作を認めていることもある。各学科で教育目標が定められており、その目標を達成するためのカリキュラムが体系的に設定されている。従ってデビューが決まっても全ての科目を卒業に向けて合格にする必要がある。
- ・卒業生は専門分野への就職しているのか。一般職に就職する学生もいるのか？
- ⇒多くの学生は専門職へ就職している。分野の特徴としてフリーランスや作家を目指す学生は一般職を希望する学生もいる。安定的に求人を紹介できるよう求人企業の開拓は今後も必要となってくる。
- ・求人の減少と求める人材の変化はあるのか。
- ⇒今のところ大きな変化はない。求める求人については求めるスキルの変化は出てきている。AIの進化も含め今後大きく業界が変化していくことは必須と考えている。

3 生徒の受入れ、生徒支援

【学校関係者評価委員 意見・質問】

- ・ 学生支援について問題が起きてから対処するのではなく予防的対策を行っているとのことだが、具体的にはどのようなことをしているのか
- ⇒一例を上げると、「安心感をつくる」「役割を与える」「承認欲を満たす」「コミュニケーションのきっかけをつくる」など居場所となる場所づくりを行っている。他学科との交流や不得意分野や理解不足の内容を解消するためにスタディサポートラボを実施。ルールは作らず、学生の居場所をつくり、気軽に相談ができる場所を提供している。
- ・ 学校の取組や考え方を聞いていると非常に手厚いと感じる。
 - ・ 学生の支援はそれぞれの個性、育った環境によって異なるものであり対応がとても難しいと思うが様々な学生を支援できるように考えられている。
 - ・ 福岡県以外の学生は多いのか？一人暮らしの学生の食生活管理は難しいのではないかと？
- ⇒福岡県外の学生も多いため一人暮らしの学生も多い。学生に声がけすることは出来るか私生活まで関与することはとても難しい。

4 教育実施組織・教員

【学校関係者評価委員 意見・質問】

- ・ AI という言葉が多々出てきているが今後の大きな課題となる。AI の授業は実施しているのか？
- ⇒今後 AI が必要な時代となることは間違いない。現在では AI 単体の授業は科目として存在していないが、AI の活用方法は指導している。クリエイティブ分野の特徴上、技術が向上しないような AI の使い方は行わないように指導している。AI を含めたカリキュラム改定は学園全体として方針を定めていく。
- ・ AI は将来的にも重要な技術となるので教職員の研修会を実施している。
 - ・ AI については一刻も早く自分の手で触って体感させたほうが良い。
 - ・ 教職員の知識・技術のアップデートは必要となる。
 - ・ 将来的には AI の進化によって制作することが専門じゃなくなる時代が来る可能性がある。デザイナーに求められる領域が変わっていく。今のように制作ツールのひとつとして AI を考えていると難しい。

5 教育環境

【学校関係者評価委員 意見・質問】

学校関係者評価委員からは特にご意見はなく、自己評価報告書での報告内容で見解・改善案は一致した。

6 教育活動の基盤と改善・向上の取組

【学校関係者評価委員 意見・質問】

学校関係者評価委員からは特にご意見はなく、自己評価報告書での報告内容で見解・改善案は一致した。

Ⅲ まとめ

本年度は、入学式や卒業作品展をはじめとする各種学校行事を計画通り実施し、外部来場者数も増加するなど高い成果を上げるとともに、国内外の著名クリエイターによる特別授業や産学連携、国内・海外研修を通して実践的かつグローバルな学びを推進し、各種コンテストにおいても優れた実績を残すことができた。また、学生一人ひとりが安心して学べる環境づくりと予防的な学生支援体制の強化に努めるとともに、マレーシア校をはじめとするグループ校との連携を深め、国際的な視野を持つ人材育成に注力している。財務面においても、適正な予算・収支計画のもと、経理監査や理事会・評議員会による確認・承認を経て、安定した学校運営を継続している。さらに、58年の歴史を持つデザイン専門学校として、多数の卒業生が業界第一線で活躍している実績や高い就職実績、コンテスト受賞実績を背景に、教育の質向上に向けた講師陣の充実や若手職員の育成、新入職員の採用を進め、「高付加価値教育」「ITの活用」「グローバル教育」をさらに発展させることで、今後も業界に貢献できる優秀なクリエイター育成に取り組んでいく。

そのような状況の中でも教育活動の改善や学生支援の改善、教育環境の改善などに積極的に取り組んでいる姿勢は学校関係者評価委員の皆様より高い評価を得ることができている。当委員会では注意事項や細かいレベルでのアドバイスをいただいております。令和8年度の取り組みに反映させ、教育活動の向上を目指すことで一致した。